



串建 第 256 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

串本町長 松 原 繁 樹



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の回答について、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

事務担当：建設課 岩 本 始
〒649-4122 和歌山県東牟婁郡串本町西向 359
TEL 0735-72-0081(代) FAX 0735-72-0157
e-mail:kensetsu@town.kushimoto.wakayama.jp

平成20年5月13日に閣議決定された「道路特定財源等に関する基本方針」に於いては、道路特定財源の一般財源化のもとにおいても、地方のストックを含む社会資本整備については強力に進めていただき、中央と地方との格差解消を図るべく、立ち遅れている地方の道路整備促進を強く望むものであります。

特に、近畿自動車道紀勢線の紀伊半島一周実現は、本地域住民の悲願でありますので、その整備促進については早期に着手可能な区間から逐次整備出来るような手法等を検討していただくとともに、地方道路整備臨時交付金についても、市町村道路の整備にとって有効な制度であることから、同制度の拡充を強く求めるものであります。

また、近畿自動車道等の高規格幹線道路の本町エリアの計画区間において、ルート・インターチェンジ等の検討時は平成22年5月に開院予定の町立新串本病院建設位置を考慮していただき、緊急医療に対する交通体制に対してご配慮していただきたくお願い申し上げる次第であります。

現在、高規格幹線道路が存在しない本地域にも、昨年度から関東地方の高校生を中心として、民泊・ホテル泊の修学旅行生が来町しており、昨年度は3校から約400人の受け入れ実績のもと、本年度は、13校から約5,500人の受け入れを予定しており、更にその数は増加の傾向が予想されております。

このことから、地域振興や安全・安心のための広域ネットワークづくりを如何に推進していただけるかが、今後の厳しい地方財政の中で国家予算に期待するところであります。

○ 現状

本州最南端、和歌山県南部に位置する串本町は、温暖な気候のもと、豊かな農林水産資源や、風光明媚な海岸線を始めとする、優れた魅力ある地域でありながら、半島南部に位置する地理的条件から道路網の整備が立ち遅れ、近畿自動車道紀勢線の紀伊半島一週整備は、すさみ町～熊野市間が現在も基本計画区間等の位置付けにあり、今後の整備推進の見通しが不明確であるのが現状であります。

また、同区間に存在する幹線道路は、「一般国道42号」のみというのが現状であり、この「一般国道42号」が、海岸線に位置するため、近い将来に、高確率で発生すると伝えられている南海・東南海地震による津波に対して脆弱であると想定されることから、紀南の各市町村は分断され、陸の孤島になることが憂慮されています。

また、自動車社会を迎えた昨今、都市圏からのアクセスがスムーズでないことから、産業・経済の低迷、高齢化・過疎化と共に、緊急時の医療体制に対しても、大きな問題となっているのが現状であります。

○ 課題

これまで、道路整備の今後について、「暫定税率関連法案」と「道路整備財源特例法案」の各法案について、議論が展開されてきた経過のもと、今般、平成20年5月13日に「道路特定財源等に関する基本方針」が閣議決定されました。

これによると、6項目の方針が示されていますが、この中で、「道路特定財源制度の平成21年度からの一般財源化」、「必要と判断される道路は着実に整備する」、「道路中期計画は5年とし、最新の需要推計等を基礎に、新たな整備計画を策定する」等とされています。

しかし、これらに対しては、具体的な事項が現時点に於いては明確に示されていない段階でありますので、本地域のニーズを十分に反映して、明確な位置付けを早期にさせていただき、本地域が中央との格差が生じないように是正をしていただく事が、本地域に於いては最大の課題であります。

加えて、紀伊半島を一周する「近畿自動車道紀勢線」の早期整備にしても、現道「一般国道42号」の改良整備にしても、財源の確保は重要であることは基より、整備目的の観点から考察した場合、道路整備に対するニーズの問題であることから、「必要性があるから道路整備を要求する」という解釈をもって、如何に取り組むをしていくかが今後の重要課題であります。

また、全国的にも行政や、各協議会主体で整備促進に関する要望活動等が展開されていますが、地域の住民の方も参画できる機会をより多く検討して行くことも今後の課題であると思います。

近畿自動車道紀勢線の紀伊半島一周整備の経済波及効果は、現在のところ的確には推測困難なところではありますが、直接的には建設工事等に伴う雇用促進の効果、また、これに伴う産業面での効果が期待できるものと推測し、紀南地方の人口減が今後加速して行くと想定される中、この波及効果がもたらす効果に期待が寄せられます。

また、防災面・地域医療面に於いても、安全・安心の町づくりのために、大きく期待できることを願うものであります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

和歌山県串本町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
増大する災害リスク等に対し、安全・安心な社会を形成する投資推進 ・道路ストックの耐震補強 ・災害対策ソフト面の充実		・人命被害の減少 ・救援活動の効率化 ・豊かな暮らしの環境づくり	